

## B-28

# シュワシュワ!バスボムを作ろう!

みなさん、お風呂に入るとき入浴剤を使っていますか? 代表的なものに「バスボム」というものがあります。このバスボムはシュワシュワと泡を出して溶けますが、この「シュワシュワ」って何でしょう? また、バスボムのお風呂は体が温まるといわれていますが「シュワシュワ」と関係があるのでしょうか? 今回は、家にあるものを使って実際にバスボムを作り「シュワシュワ」の正体を調べよう! (つくったバスボムは持って帰ってシュワシュワを楽しめます!)

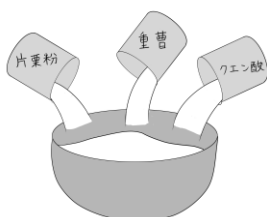
### 実験1 バスボムを作ってみよう

用意するもの 片栗粉、クエン酸、重曹、食紅、アロマオイル、水、ガチャガチャの  
カプセル、ボウル、スプーン

やりかた

1. ボウルに片栗粉(100g)、クエン酸(100g)、重曹(50g)と、食紅、アロマオイルを少し入れます。
2. 水を少しずつ加えてスプーンで混ぜます。
3. ガチャガチャのカプセルの中に2を詰めます。
4. 乾燥させて、できあがり!!

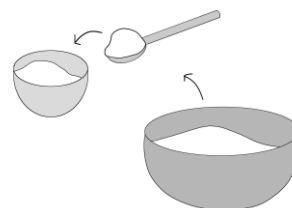
1



2



3

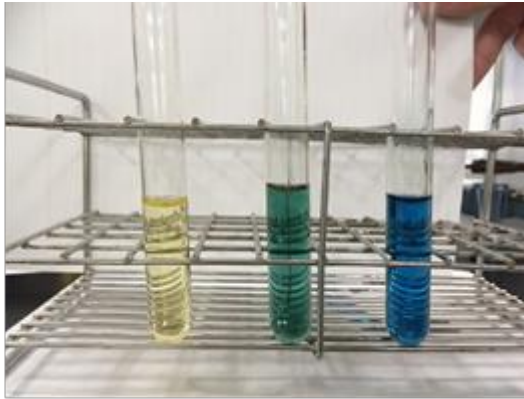


### 実験2 シュワシュワって何? B T B 溶液の中にバスボムを入れてみよう

用意するもの <sup>ようい</sup>バスボム、<sup>びーていーびーようえき</sup>B T B 溶液、<sup>じゅうそう</sup>重曹、<sup>みず</sup>水、ビーカー

やりかた

3つのビーカーの中に<sup>なか</sup>B T B 溶液<sup>い</sup>を入れます。そのうちのひとつに<sup>じゅうそう</sup>重曹を、ひとつにバスボム<sup>い</sup>を入れてみます。3つのビーカーの色の違い<sup>いろ</sup>を観察<sup>ちが</sup>してみよう。



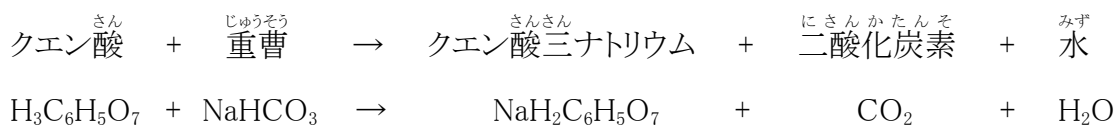
<sup>びーていーびーようえき</sup>B T B 溶液<sup>ようえき</sup>とは、溶液<sup>さんせい</sup>が酸性<sup>きいろ</sup>のときには黄色<sup>ちゅうせい</sup>、中性<sup>みどり</sup>のときには緑<sup>えんきせい</sup>、塩基性<sup>あお</sup>のときには青<sup>いろ</sup>く色がかわる溶液<sup>ようえき</sup>のことです。バスボムの「シュワシュワ」の正体<sup>しょうたい</sup>である<sup>にさんかたんそ</sup>二酸化炭素<sup>ようえき</sup>は溶液<sup>さんせい</sup>を酸性<sup>か</sup>に変えるので溶液<sup>ようえき</sup>の色<sup>いろ</sup>は黄色<sup>きいろ</sup>になります。二酸化炭素<sup>にさんかたんそ</sup>が発生<sup>はっせい</sup>したお風呂<sup>ふる</sup>につ

かると血液<sup>けつえき</sup>の循環<sup>じゅんかん</sup>が良くなるので、体<sup>からだ</sup>がぽかぽかします。つくったバスボムをぜひおうちのお

風呂<sup>ふる</sup>に入れてみてね！

簡単な原理<sup>かんたん</sup>の説明<sup>げんり</sup>

バスボムにはいくつか種類<sup>しゅるい</sup>がありますが、多く<sup>おお</sup>は「クエン酸<sup>さん</sup>」と「重曹<sup>じゅうそう</sup>」でできています。クエン酸<sup>さん</sup>は「酸<sup>さん</sup>」、重曹<sup>じゅうそう</sup>は「塩基<sup>えんき</sup>」という性質<sup>せいしつ</sup>があつてこの二つ<sup>ふた</sup>が反応<sup>はんのう</sup>すると二酸化炭素<sup>にさんかたんそ</sup>が発生<sup>はっせい</sup>します。



また片栗粉<sup>かたくりこ</sup>はお湯<sup>ゆ</sup>をにごらせ、とろみをつけることによってお湯<sup>ゆ</sup>を柔らかく<sup>やわ</sup>しています。作成<sup>さくせい</sup>した

バスボム<sup>ふる</sup>はお風呂<sup>しょう</sup>の仕様<sup>かくにん</sup>を確認<sup>しょう</sup>して、ご使用<sup>しょう</sup>ください

理科指導法演習 I (化学) 理学部 理学科  
坂巻麻理子、正楽春菜、根本ほのか、柳仙妹